



## マニュアルの内容

### 概要

ここでは、『Cisco SCE8000 GBE ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド』の対象読者、マニュアルの構成、および表記法について説明します。

このマニュアルは、SCE プラットフォームの設定および保守を担当する、経験豊富なネットワーク管理者を対象としています。

### マニュアルの変更履歴

次の変更履歴表は、このマニュアルにおける変更内容を記録したものです。

表 1 マニュアルの変更履歴

リビジョン	シスコ サービス コントロールのリリースおよび日付	変更点
OL-21060-01	リリース 3.6.x 2010 年 3 月 28 日	<p>このマニュアルの初版（リリース 3.6.x シリーズの初版）。</p> <p>3.5.x シリーズの最終リリースから、次の変更が加えられました。</p> <p>第 5 章「管理インターフェイスとセキュリティの設定」は 2 つの章に分割され、全般的なグローバル設定タスクは新しい第 6 章「グローバル設定」に移動されました。</p> <p>次の項目について情報が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• プライベート IP over VLAN</li><li>• シスコ検出プロトコル</li><li>• CPU 使用率のモニタリング</li><li>• RDR 集約</li></ul>

# マニュアルの構成

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

表 2 マニュアルの構成

セクション	タイトル	説明
1	「シスコ サービス コントロールの概要」 (P.1-1)	SCE プラットフォームの管理の概要を示します。
2	「コマンドライン インターフェイス」 (P.2-1)	Cisco SCE CLI (コマンドライン インターフェイス) の使用方法について詳しく説明します。
3	「Cisco SCE8000 プラットフォームの基本操作」 (P.3-1)	設定の管理方法、アプリケーションのインストール方法、およびシステム ソフトウェアのアップグレード方法について説明します。
4	「ユーティリティ」 (P.4-1)	セットアップ ウィザード、ユーザ ログ、およびファイル操作について説明します。
5	「管理インターフェイスとセキュリティの設定」 (P.5-1)	Telnet、SSH、および SNMP という多様な管理オプションの設定方法について説明します。また、管理 IP アドレスとパスワードの設定方法についても説明します。
6	「グローバル設定」 (P.6-1)	システムの時刻、ドメイン名設定、IP ルーティングなど、多様なグローバル設定の指定方法について説明します。
7	「ライン インターフェイスの設定」 (P.7-1)	トンネリング、TOS マーキング、およびトラフィック規則の設定方法について説明します。
8	「接続の設定」 (P.8-1)	接続モード、リンク モード、および障害時の動作の設定方法について説明します。
9	「Raw Data Formatting : RDR フォーマットと NetFlow のエクスポート」 (P.9-1)	接続モード、リンク モード、および障害時の動作の設定方法について説明します。
10	「サブスクライバの管理」 (P.10-1)	サブスクライバ情報のインポート/エクスポート方法およびサブスクライバのモニタ方法について説明します。
11	「冗長性とフェールオーバー」 (P.11-1)	冗長構成システムの設定および管理の方法について説明します。
12	「DDoS 攻撃の識別と防御」 (P.12-1)	アタック フィルタリングの設定方法について説明します。
13	「SCMP の管理」 (P.13-1)	Service Control Management Protocol (SCMP) について説明します。SCMP は、SCE プラットフォームとシスコ製ルータの Intelligent Service Gateway (ISG) 機能を統合するプロトコルです。また、SCMP、SCMP ピア デバイス、および RADIUS クライアントの構成方法と管理方法についても説明します。
14	「インテリジェント トラフィック ミラーリング」 (P.14-1)	トラフィックのミラーリングによって、サブスクライバデータをオフライン分析に利用する方法について説明します。

表 2 マニュアルの構成 (続き)

セクション	タイトル	説明
A	「シスコ サービス コントロール MIB」 (P.A-1)	以前のリリースでサポートされていた独自の pcube MIB を新しい MIB 構造にマップする方法について説明します。
B	「SCE プラットフォーム利用率のモニタリング」 (P.B-1)	実際のトラフィックでインストールされる SCE プラットフォームを監視する方法について説明します。
C	「SCE8000 ライセンス情報」 (P.C-1)	Open SSH と NetSNMP ライセンス情報のコピーです。

## 関連資料

ご使用の SCE プラットフォームおよび SCE プラットフォーム上で動作するソフトウェアは、広範囲にわたる機能を備えており、次のリソースに記載されています。

- Service Control CLI およびすべての CLI コマンドのリストに関する詳細については、『[Cisco SCE8000 CLI Command Reference](#)』を参照してください。
- 初期インストールおよび起動については、該当するインストーレーション ガイドを参照してください。
  - 『[Cisco SCE8000 GBE Installation and Configuration Guide](#)』
- SCE 2000 プラットフォームの WAN インターフェイスの国際適合規格、安全性、および規定情報については、適合規格および安全に関する情報についてのマニュアルを参照してください。
  - 『[Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco SCE8000](#)』
- Service Control Management Suite のその他のコンポーネントのインストーレーションおよび設定については、次のマニュアルを参照してください。
  - 『[Cisco SCMS Subscriber Management User Guide](#)』
  - 『[Cisco SCMS Collection Manager User Guide](#)』
  - 『[Cisco Service Control Application for Broadband User Guide](#)』
  - 『[Cisco Service Control Application Reporter User Guide](#)』
- シスコ製品のマニュアルの閲覧方法、またはマニュアル一般に関する情報の入手方法については、次の資料を参照してください。
  - 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.xxv)
  - SCE8000 プラットフォームに添付されているシスコ情報パッケージ

# 表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

**表 3**                    **表記法**

表記法	説明
太字	コマンド、キーワード、およびユーザが入力するテキストは <b>太字</b> で示しています。
イタリック体	マニュアルタイトル、新規の用語または用語の強調、ユーザが値を指定する引数はイタリック体で示しています。
[ ]	角カッコの中の要素は、省略可能です。
{ x   y   z }	必ずいずれか 1 つを選択しなければならない必須キーワードは、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[ x   y   z ]	いずれか 1 つを選択できる省略可能なキーワードは、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
ストリング	引用符を付けない一組の文字。ストリングの前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めてストリングと見なされます。
courier フォント	システムが表示する端末セッションおよび情報は、courier フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[ ]	システム プロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。



(注)

「注釈」です。



ヒント

「問題解決に役立つ情報」です。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。



ワンポイントアドバイス

「時間の節約に役立つ操作」です。記述されている操作を実行すると時間を節約できます。



警告

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

